



さあ

ノエルさん

今度はあなたが  
仕返しをする番です

え……？

小さくなった  
この方を  
今度はあなたが9回  
射精させるのです

私が……  
イカせる……？

召使いである  
私が

領主様を……!?

うぐっ

うぐっ

西の果ての領

シュリーン州の  
城下町

次期領主である  
俺が生きていると  
同盟に知らせられれば  
助けも来るはずだが

終わった  
何もかも

はあ

はあ

生き残った  
我が戦力がこの

俺は戦争に敗れた

次期領主  
レオン・ヴァルフォード

使用人  
たった1人とは





あら？

もうとっくに  
始めたと思っていたのですが

まーだお二人は  
セックスをして  
いないのですね

あなた方は  
虫並みに体を  
小さくされたの  
ですから

元のプライド  
なんて捨てて  
さっさと虫のように  
交尾してくださいね





負けたあなた方は  
私の捕虜なのですから

ちゃんと言う事を  
聞いてください♡

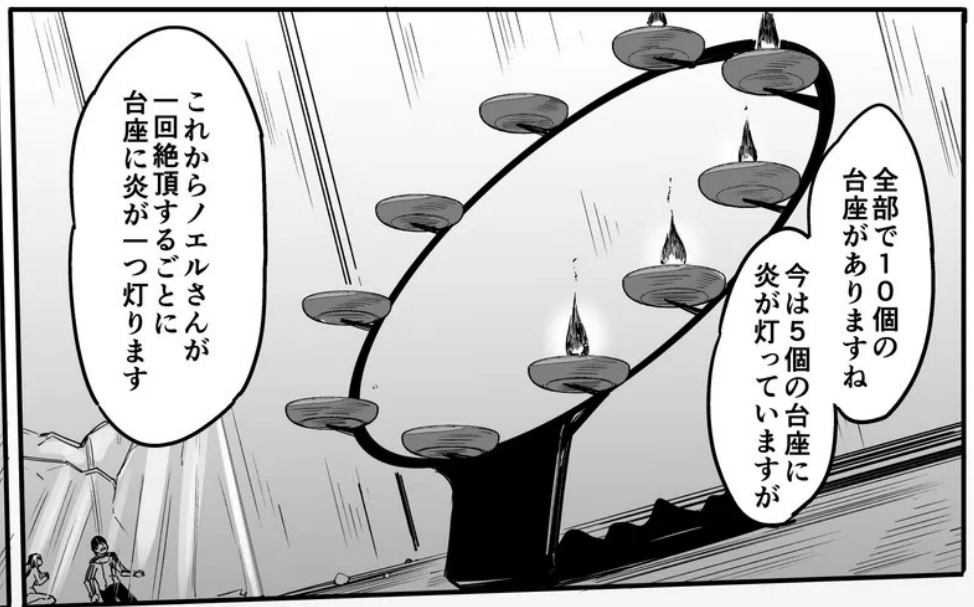
それとも  
私が言った事  
理解できませんでしたか？

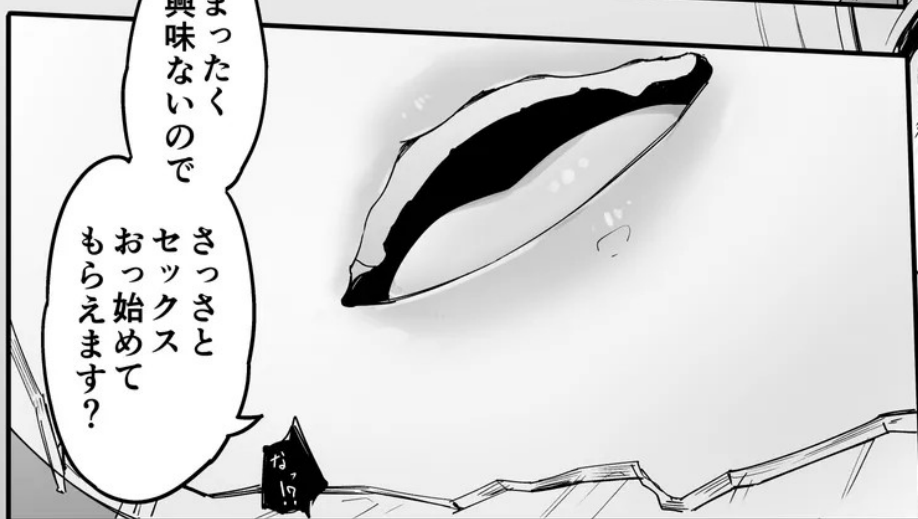
ん…  
あー  
私とした事が

ちっちゃな  
あなた方には  
周りの景色が全部  
高すぎて  
よく見えませんよね

もう一度  
ご説明致します  
お二人がそこから  
出る方法を

ここに燭台しやくたいが  
あるでしょう？







お話は  
終わりです

レオンさん

あなたのような  
立場を捨てられない  
人は嫌いですけど

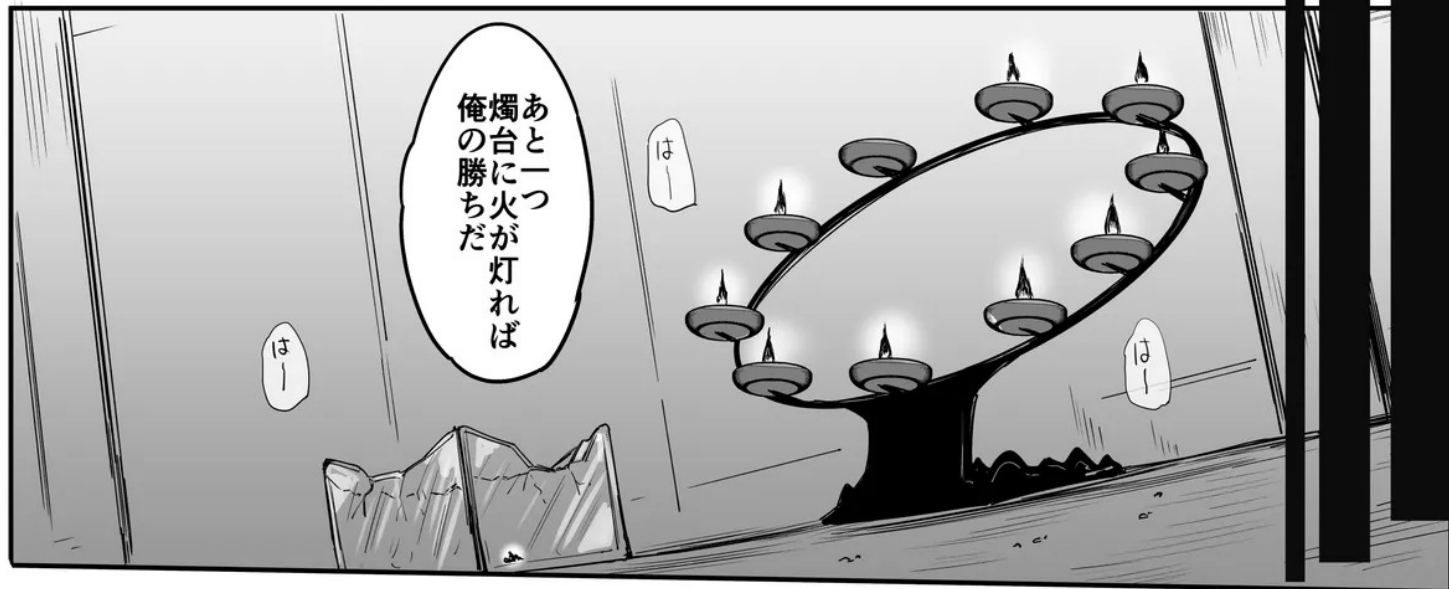
小さくなった今は  
あなたのような人  
むしろ好きですよ

今はここから  
出るのが最優先だ

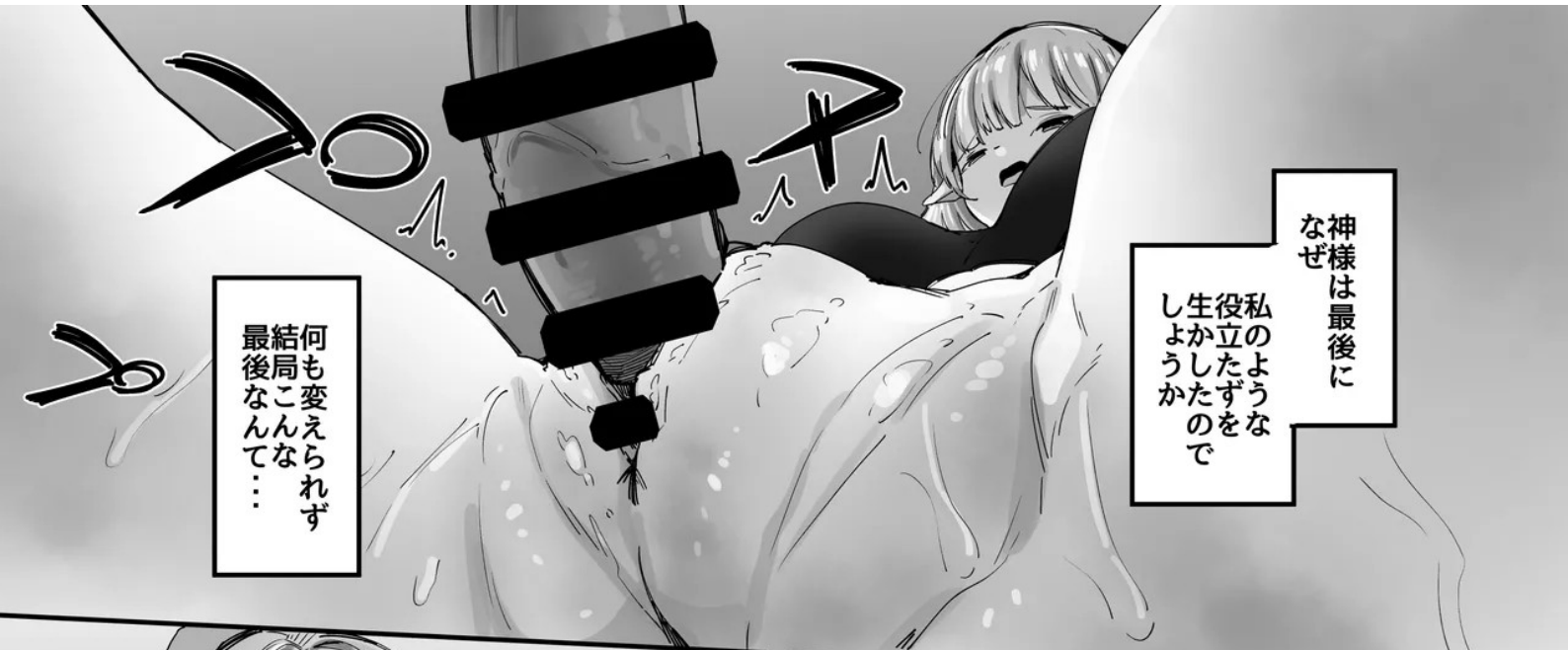
この女の  
命令に従うのは  
癪だが

となれば





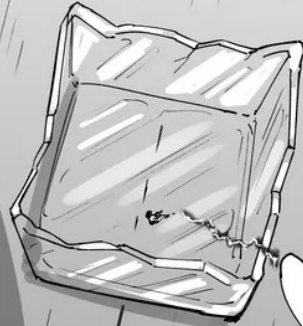






あなたの  
領主とやらのプライドが  
そのとーっても小さな体に  
収まるか見せてもらいましょう

もう1ミリ程しか  
ありませんね



シシシ...

更に  
縮めました  
先ほどの戯言が  
不愉快だったので



わ  
私が...?

たっぷり  
いじめてあげるのですよ

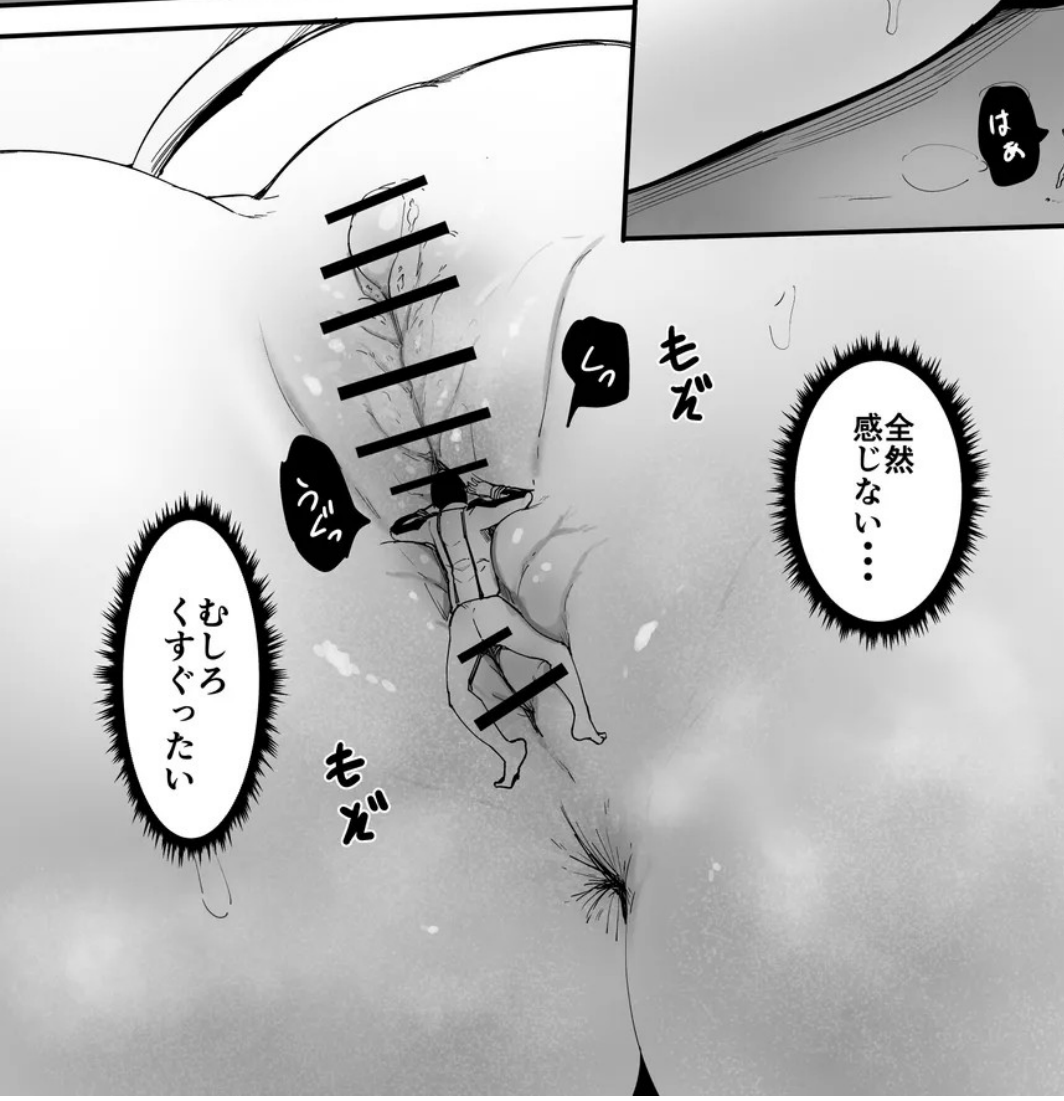
今まで絶頂させられた分も  
含めあと9回

続く...

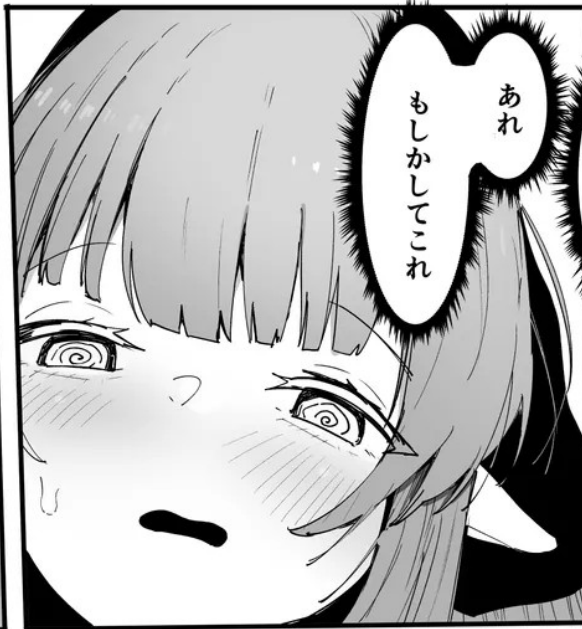


さあ  
ノエルさん

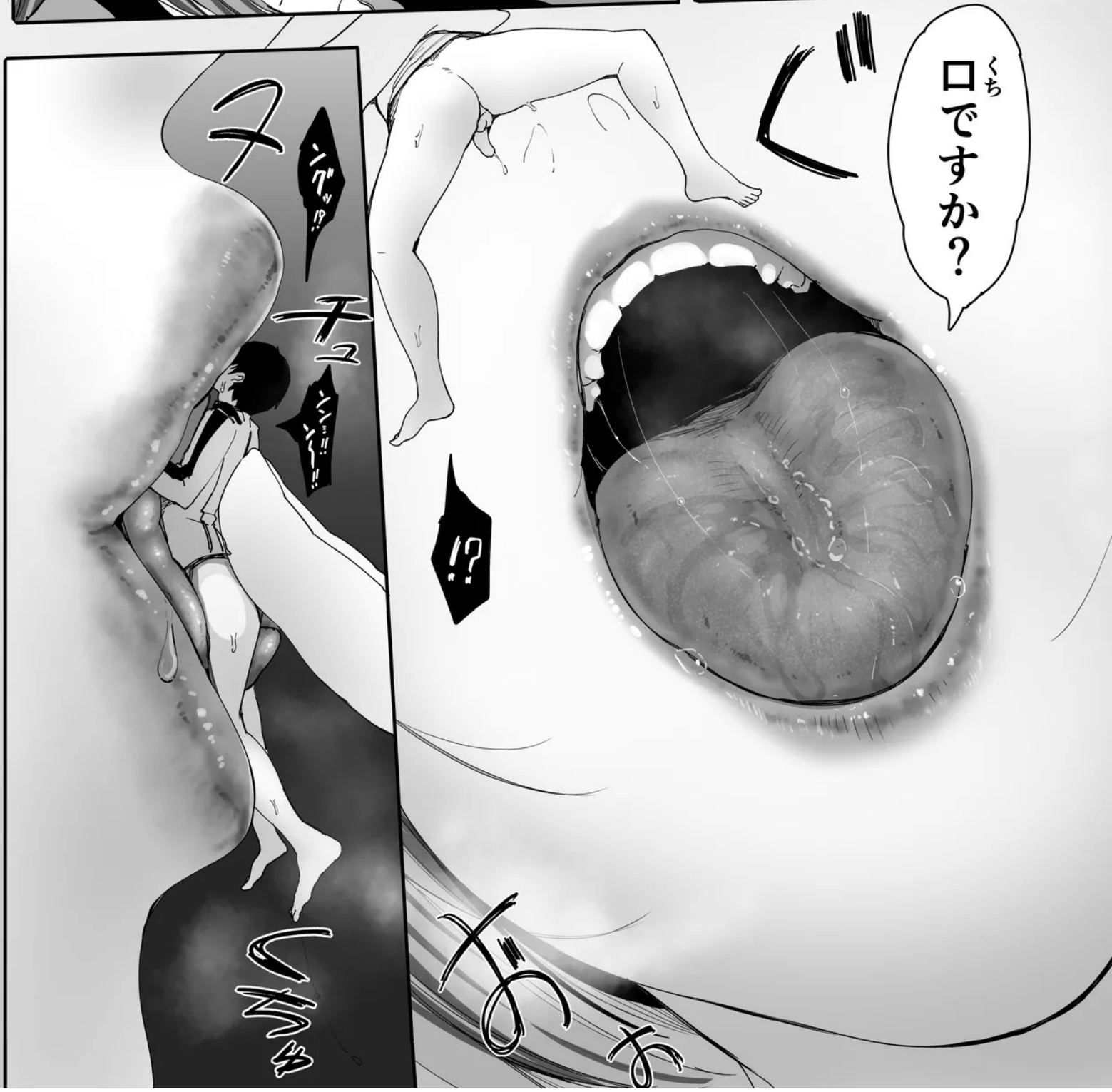
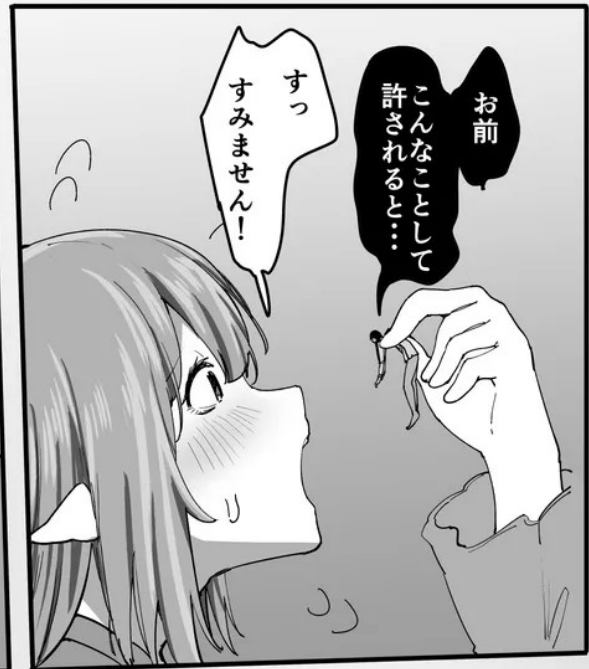
今度はあなたが  
仕返しをする番です





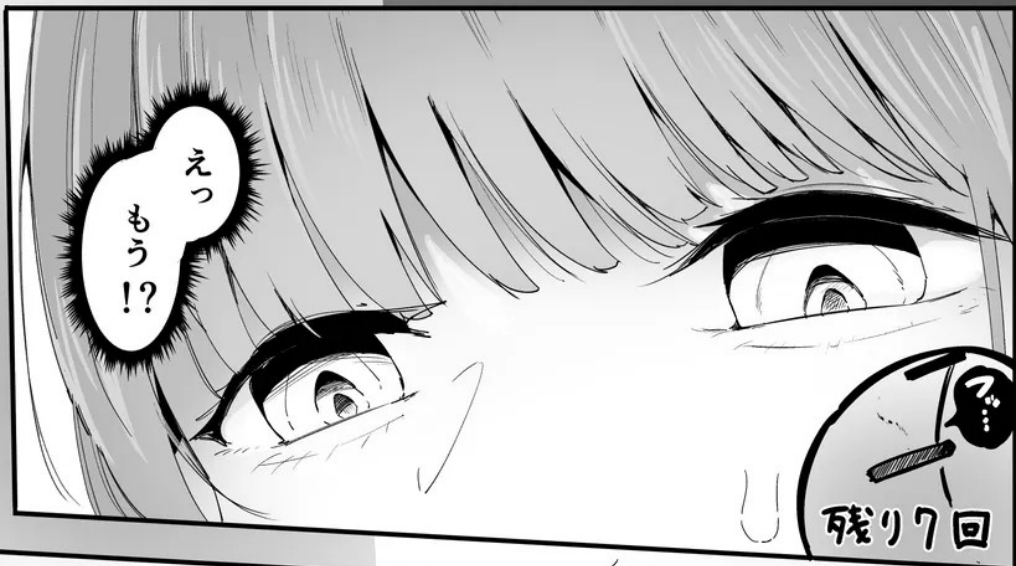






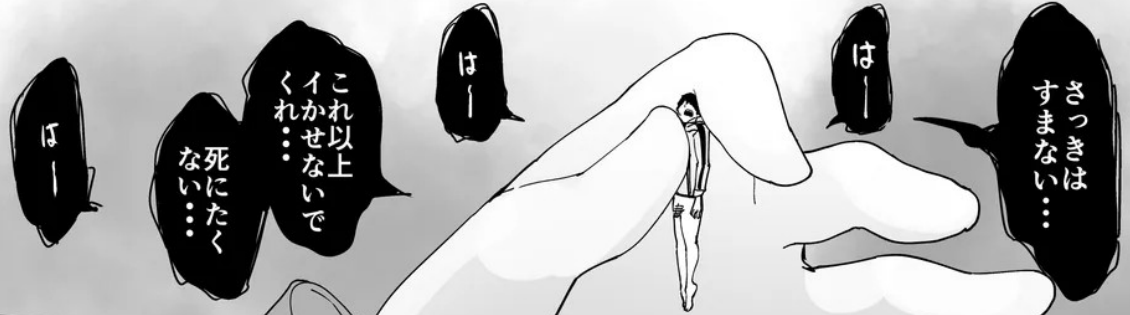






残り7回





さっきは  
すまない…

はー

はー

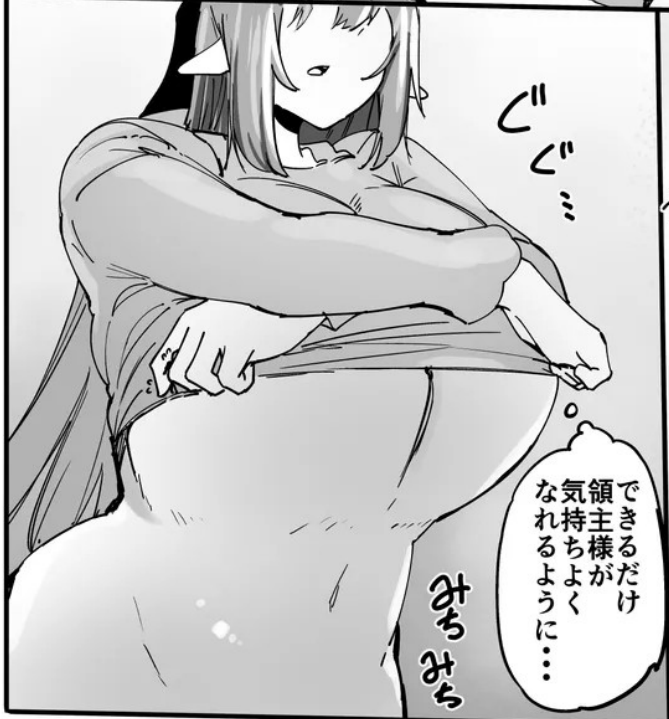
これ以上  
イかせないで  
くれ…

死にたく  
ない…

はー



!!



ぐぐみ

できるだけ  
領主様が  
気持ちよく  
なれるように…

みちみち



こんな小さい  
私にすら命乞い…  
領主様はそれ程  
か弱くなられて  
しまったのですね

ズ



ばるんっ!

キュッ  
キュッ

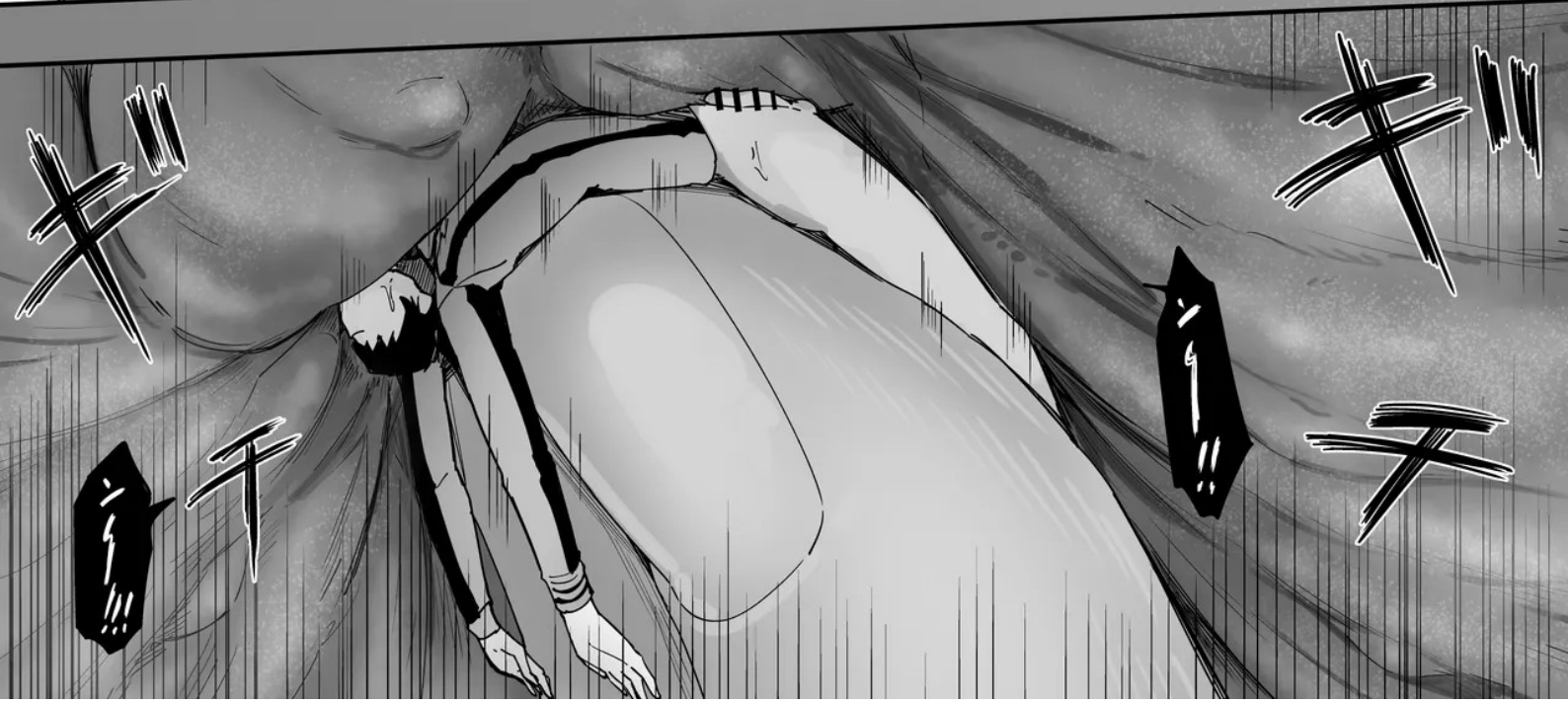
ですが  
ここから  
出るためには  
今が二度とない  
チャンスなんです



ズ









すみません  
ちよっと  
苦しいですよね...

やさしく  
いたしますから

怖がらないで  
くださいね♡

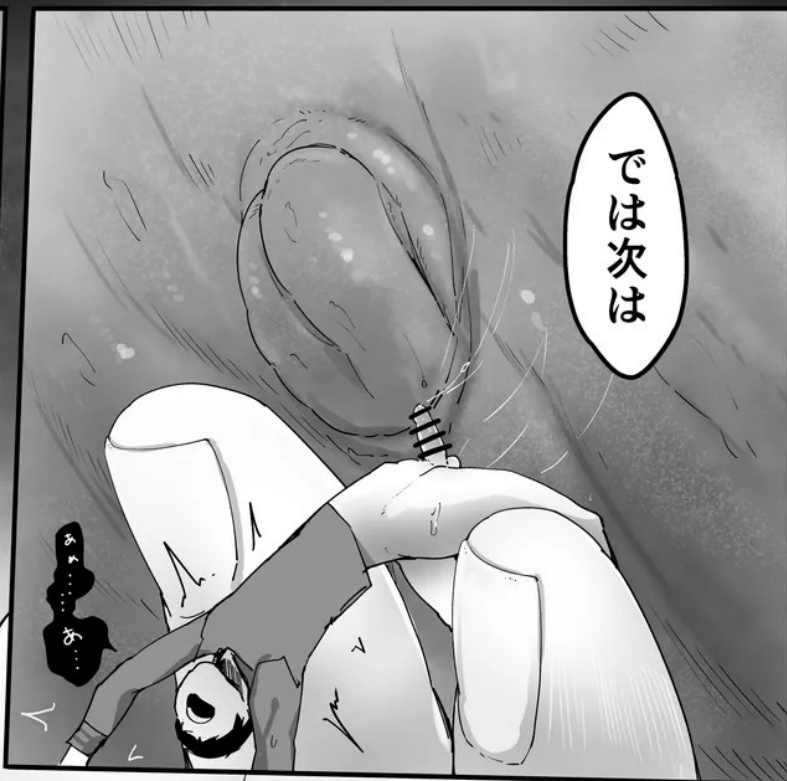












じゃあその  
太ももで

ついでに  
1回射精  
しまし  
ようか

もわわ

は







ぐーるぐる

ぐるぐる〜♡

あはあ

さつきよりも  
凄い声♡

震えが  
指先に伝わって  
きています

もう  
射精してしま  
いますかあ？

ビク

スチユ

やっめっ!!

あっ!! やすは!!

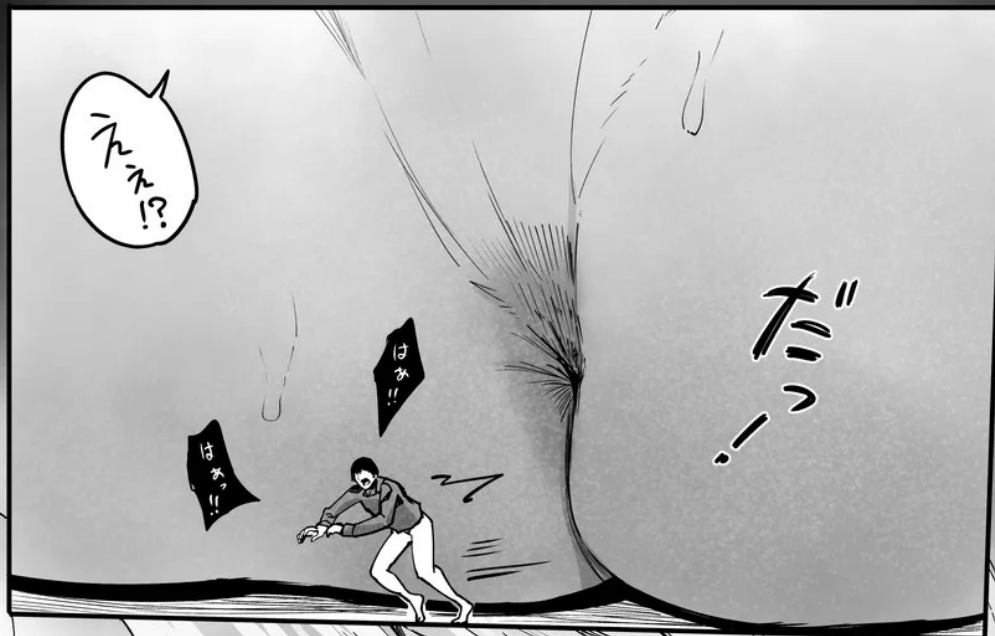
スリ

あっ!! あ!!

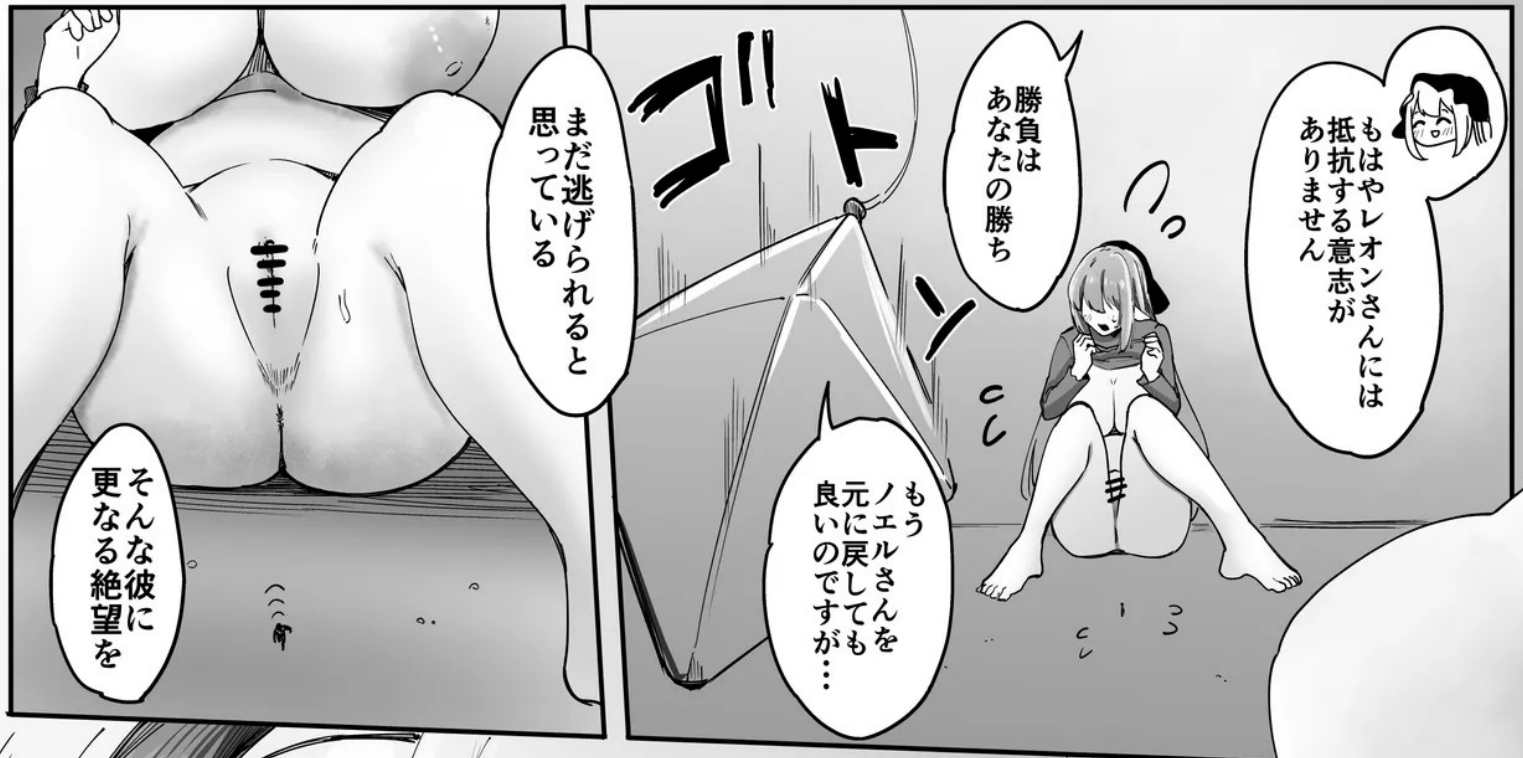
スチ

ビク  
ビク  
ビク









走れ…！

走れ！！

それにあの女の動きも  
縮められる前より  
遅くなっている  
気がする

はぁ！！

はぁ！！

はぁ！！

はぁ！！

これだけ広いんだ

隠れられる場所  
はあるはず！

全力で走れば  
逃げ切れる！！

小さく

なーれ

ぼん



しゅる  
しゅる  
しゅる

0.8 mm



よかった  
こんな大岩が  
あったのか  
ここまで  
走れば  
大丈夫か？



0.2 mm

しゅる

しゅる



身長  
1.1 mm

ぽしゅ



0.01 mm

しゅる

しゅる

はあ

今更だ...







も

わ

え？

ここ…  
どこだ？

あ

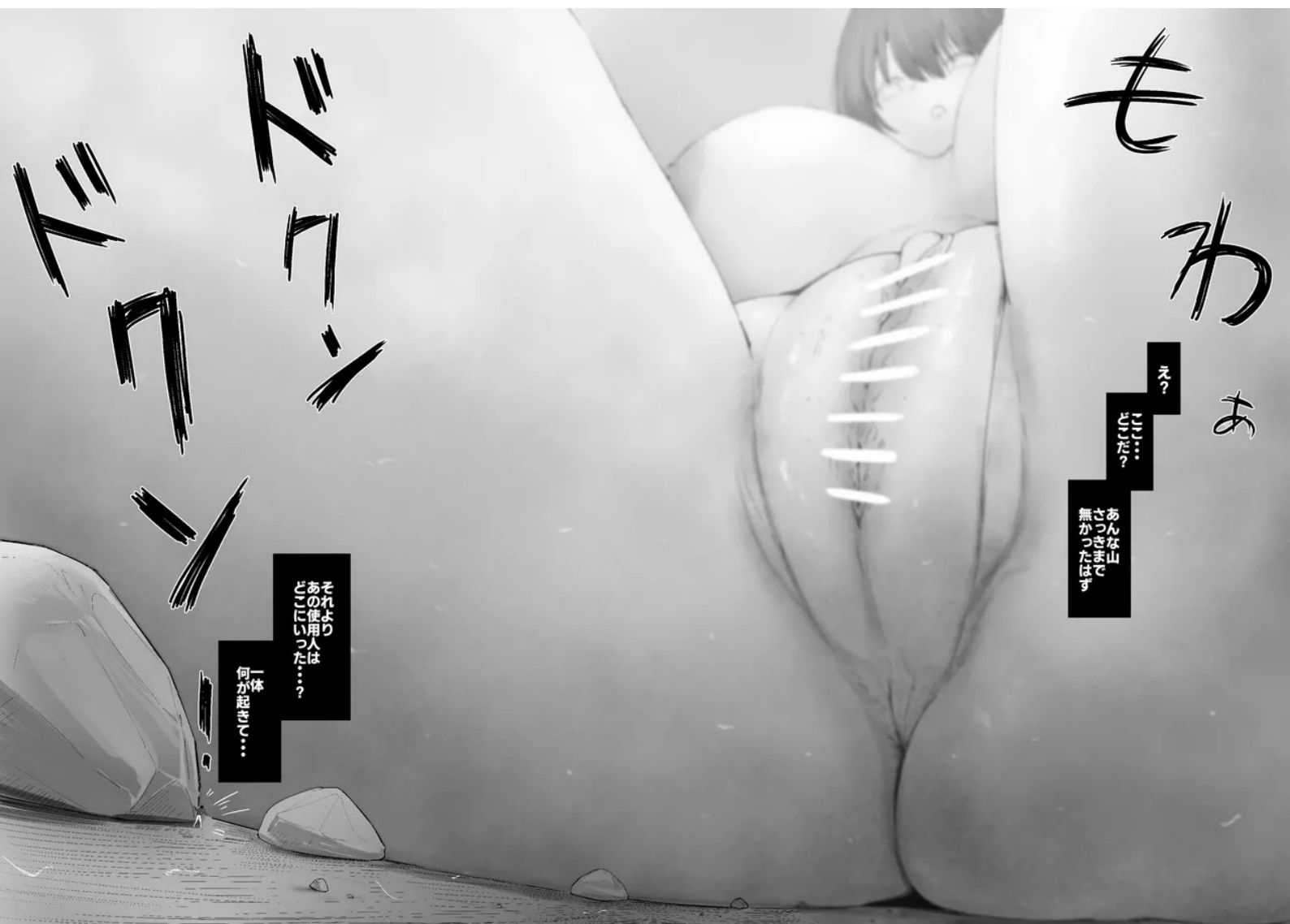
あんな山  
さつきまで  
無かったはず



それより  
あの使用人は  
どこにいった…？

一体  
何が起きて…

つづく



も  
わ  
あ

え？

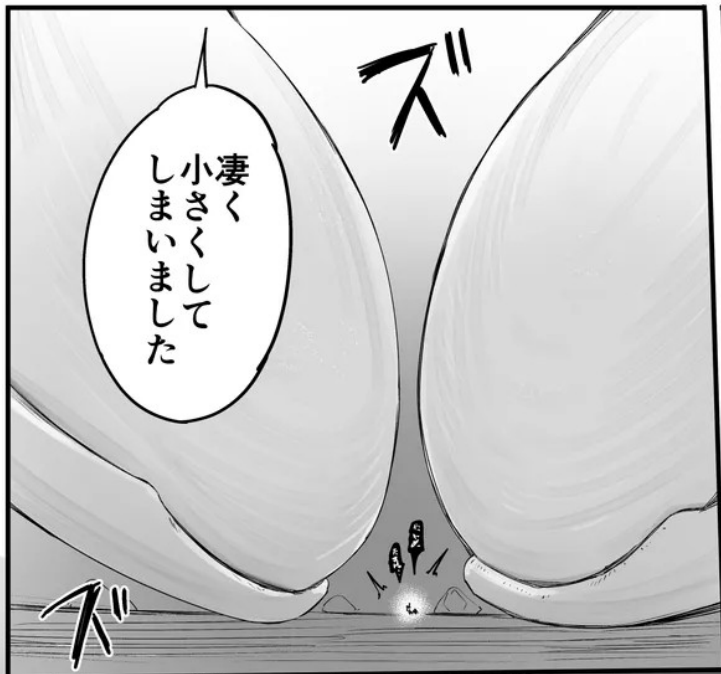
どこだ？

あんな山  
さつきまで  
無かったはず

それより  
あの使用人は  
どこにいった...？

一体  
何が起きている...







無理だ...

こんなの

敵はあがな...  
敵はあがな...  
敵はあがな...



俺

いつの間にか  
いたんだ!? されて

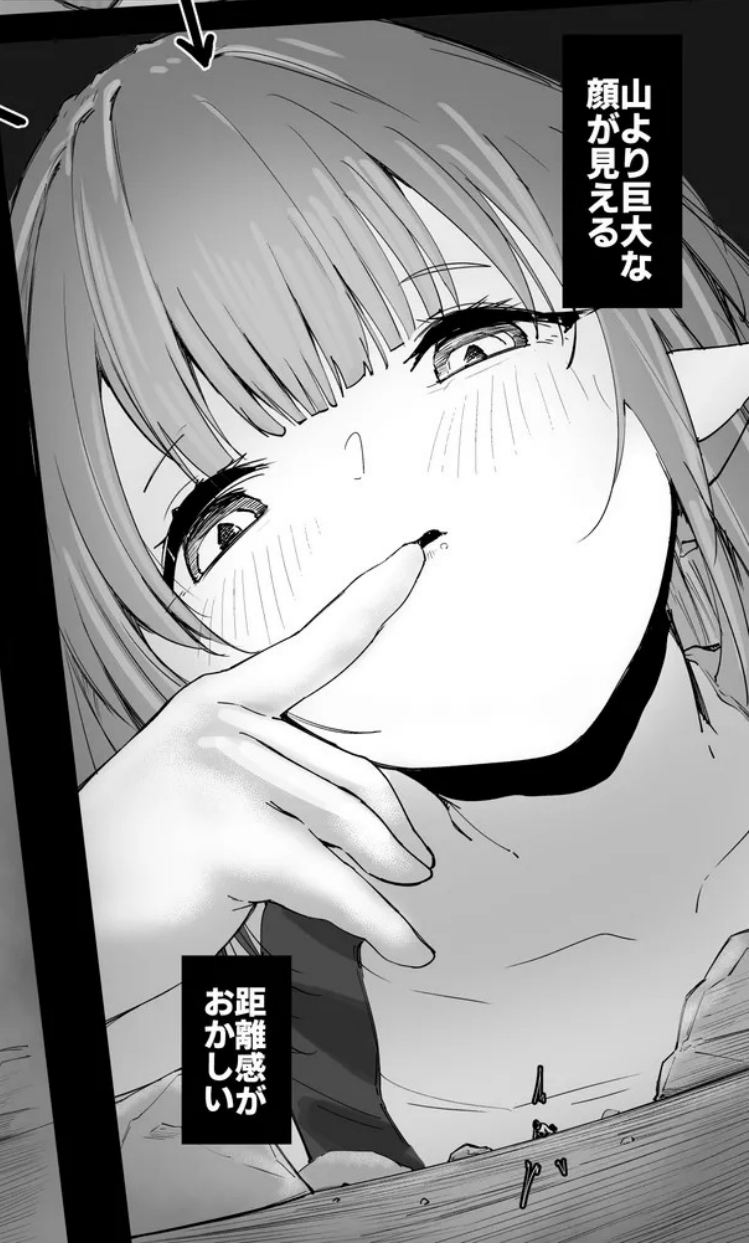
これはあの女の  
体の一部!?



ひあっ!!?

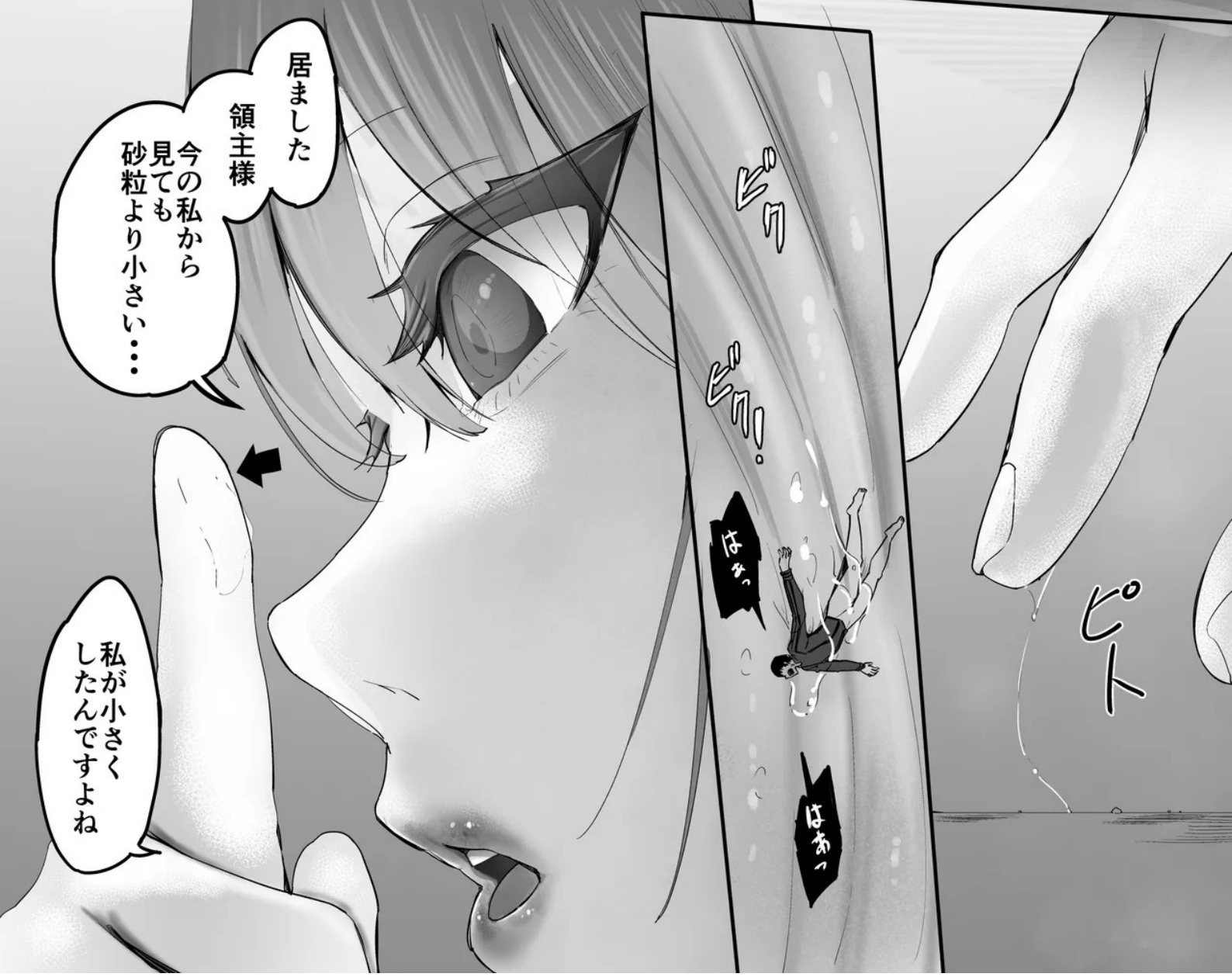
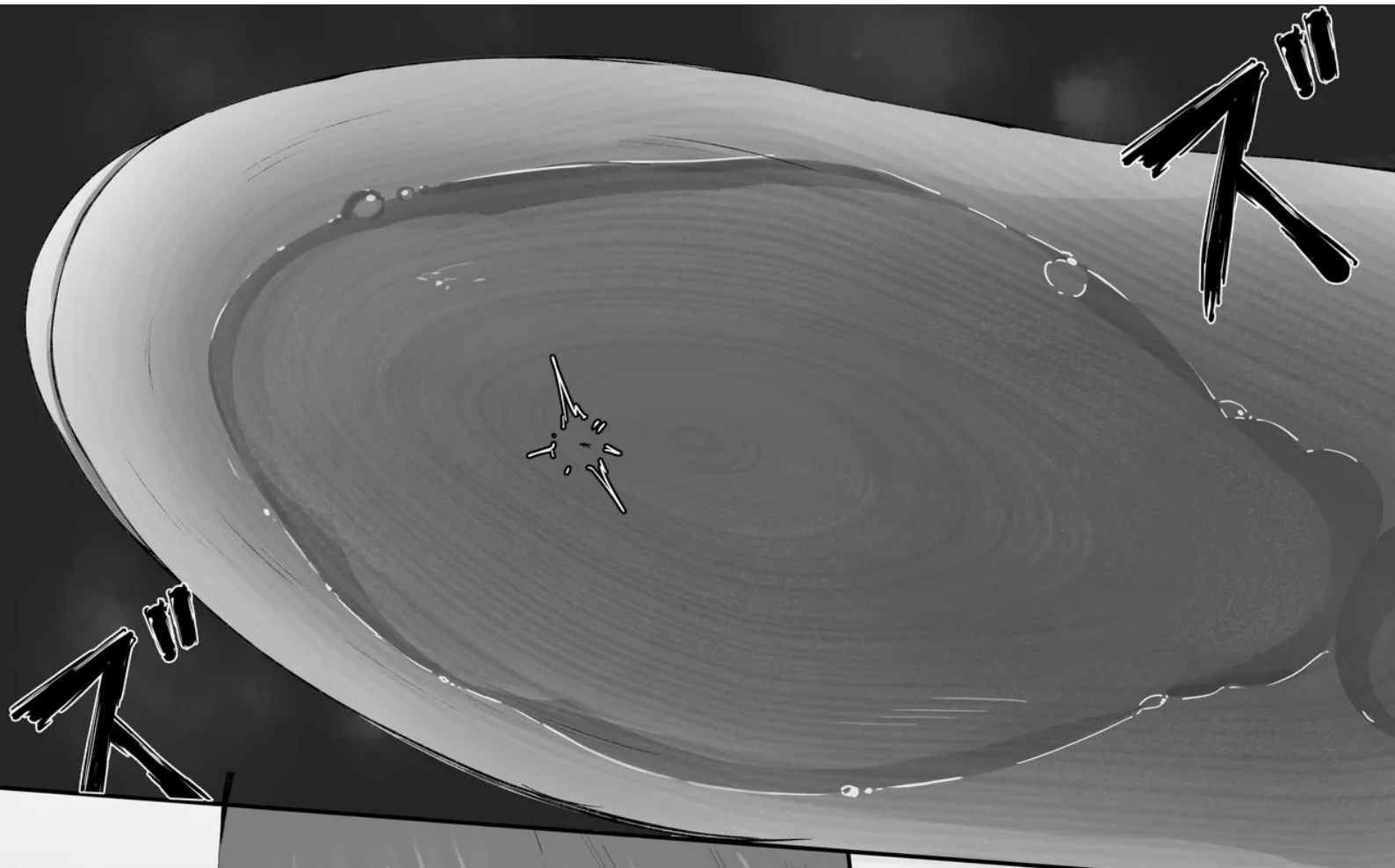
肌色の壁が来る!

うめあ!!



山より巨大な  
顔が見える

距離感が  
おかしいが



居ました

領主様

今の私から  
見ても  
砂粒より小さい…

私が小さく  
したんですね

ぐんぐん

ぐんぐん!

はっ、はっ

はっ

ピト





上手に小さく  
出来ましたね

どうですか?  
男性を小さくする感覚

とても気持ち良い  
ですよ



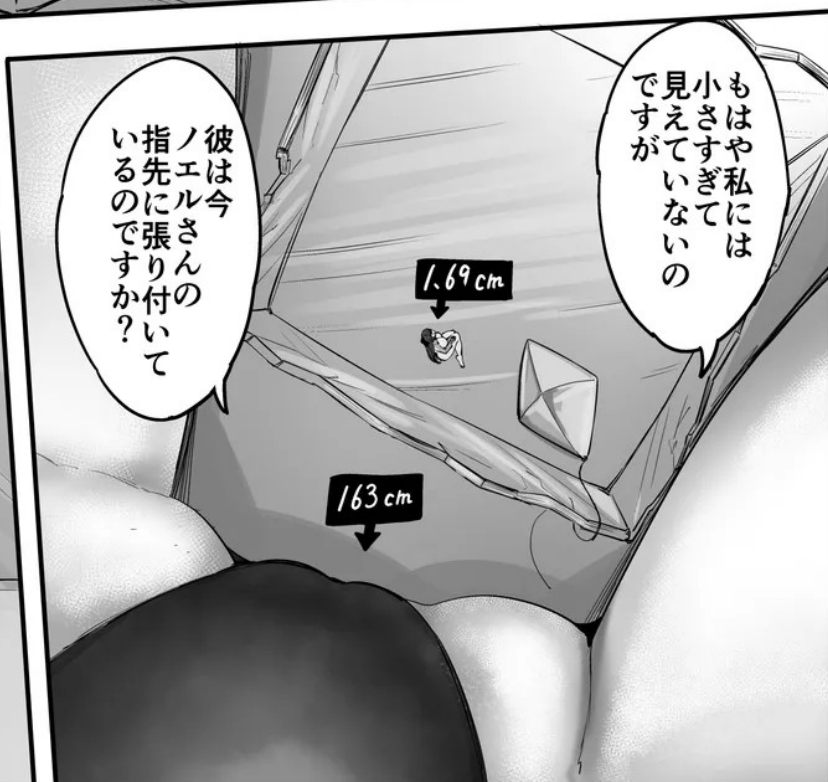
かーわいい♡



良いですね

そこまで小さいと  
五感以外の感覚も  
私達とは違ってくる  
はずです

0.01ミリ未満



もはや私には  
小さすぎて  
見えていないの  
ですが

彼は今  
ノエルさんの  
指先に張り付いて  
いるのですか?

1.69 cm

163 cm

思い出して  
ください  
この微生物が

まだ人の言葉を  
喋っていた頃を

あんなにプライドが高く  
身勝手だったのが今では...

ノエルさんの  
指に張り付くゴミ♡

いえもはや  
ゴミと呼べない程  
小さすぎた存在に  
なりましたね

さあさあ

せっかくなので  
燭台の炎がなくなるまで  
射精させてみてください

きつと更に  
面白いですよ

はあ  
はあ

おかしい

二人の口が動いた  
低い衝撃が地鳴りのように  
響くのに

肝心の会話が  
声として聞き取れない

この女の動きも  
スローモーション  
どころかたまに  
止まってるくらい  
遅感を感じる

小さくなりすぎて  
俺の体にも  
何か異変でも  
起こっているのか？



ゆるい動き

上下に白い  
大岩の様な崖……

ああ……

口こ  
なれ  
のか

あれは…？

あそこから熱気が  
立ち込めているのか

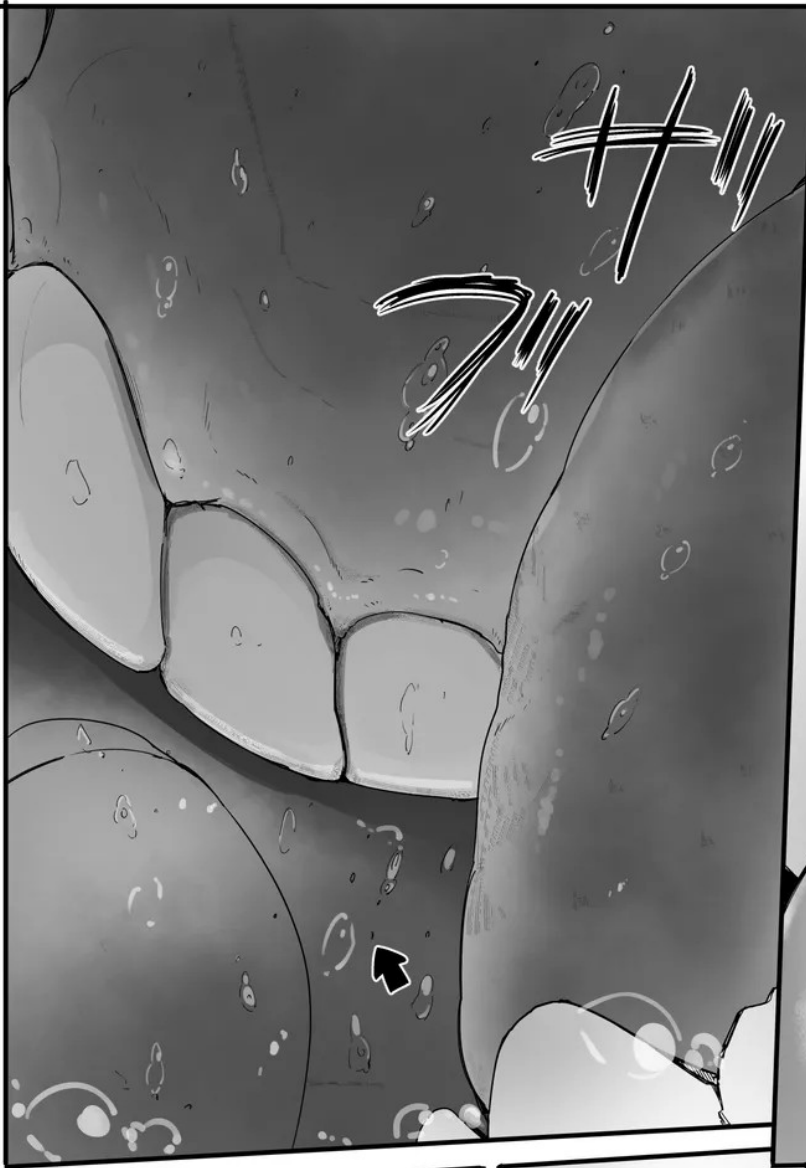
近付くごとに  
どんどん湿気と  
嵐のような重低音の  
激しさが増していく……

更に縮められてから  
体感で1時間

やっとなに  
できたの？

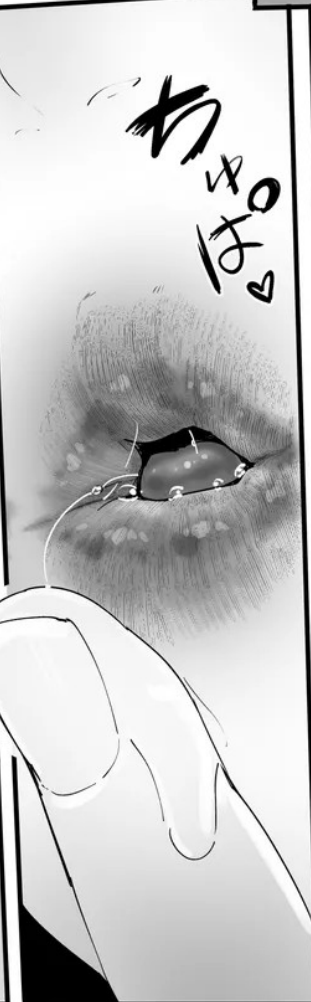


今はそれを  
受け入れることしか  
できない



それになんだか  
鼓動が早くて  
無性に興奮する…

わ  
ゆ  
ふ  
ふ





居た  
良かった  
生きてますね



…  
どうやって  
射精させれば  
良いのでしょうか

このままでは  
燭台の炎が…  
私を元に戻して  
もらえないかも…

あれ…?



もう助からないって  
領主様も分かっている  
はずなのに



この状況で  
自分から射精  
したというのですか？



炎が1つ  
消えてる…

どうして？



生物の最小単位  
「微生物」に変わっていく

彼の行動はどんどん  
微生物としてふさわしい  
下等なものになっている  
のですよ

え？



変化しているんです

身体も精神も



どこまで人としての  
感情が残っているか  
分かりませんが

今や  
繁殖行為を繰り返す  
単純な生物に  
なったのでしょう

そんな...

ノエルさん  
彼にとって  
あなたは上位の存在

女神です

私が...

女神?

...

じゃあ

まも  
護って  
あげたいです

領主様♡

す...  
る...



いきたい

いきたい

なのに体力が  
限界になつてきた

つっ...

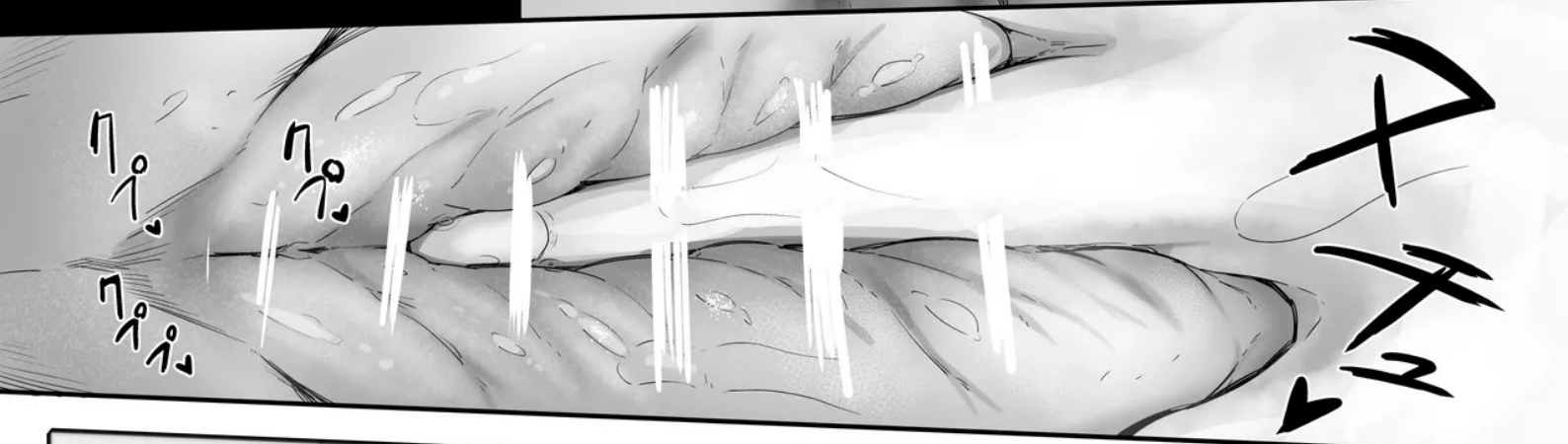
つっ...

はーはー

いっしょ

むか

いっしょ



いっしょ  
いっしょ  
いっしょ

いっしょ  
いっしょ  
いっしょ



ぼや

女神様...!!



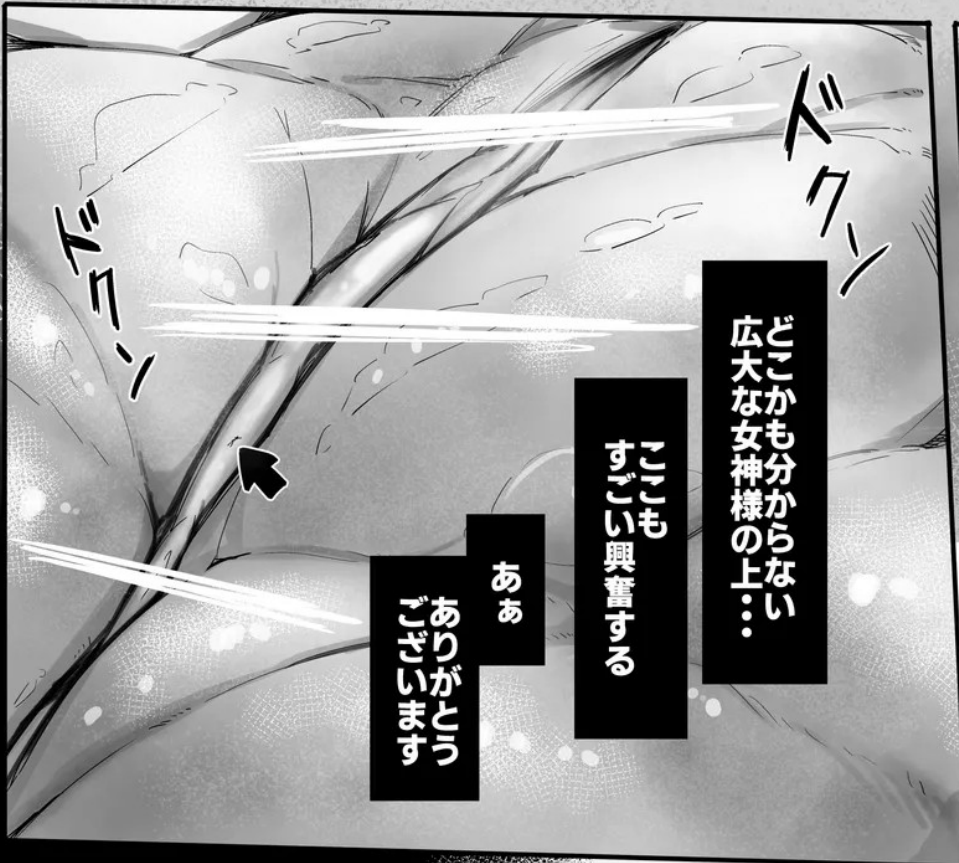
ああ

置かなくて  
ください

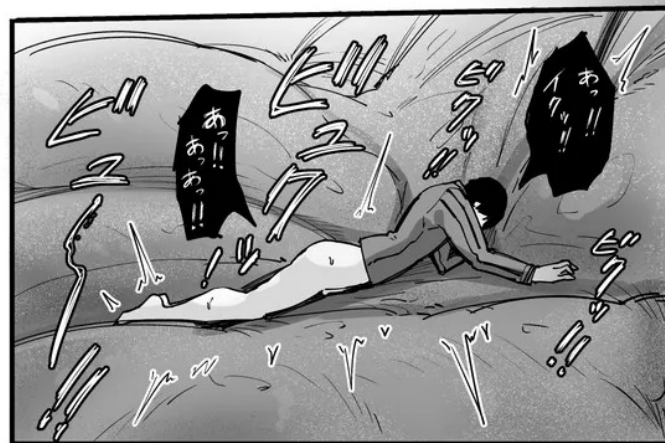
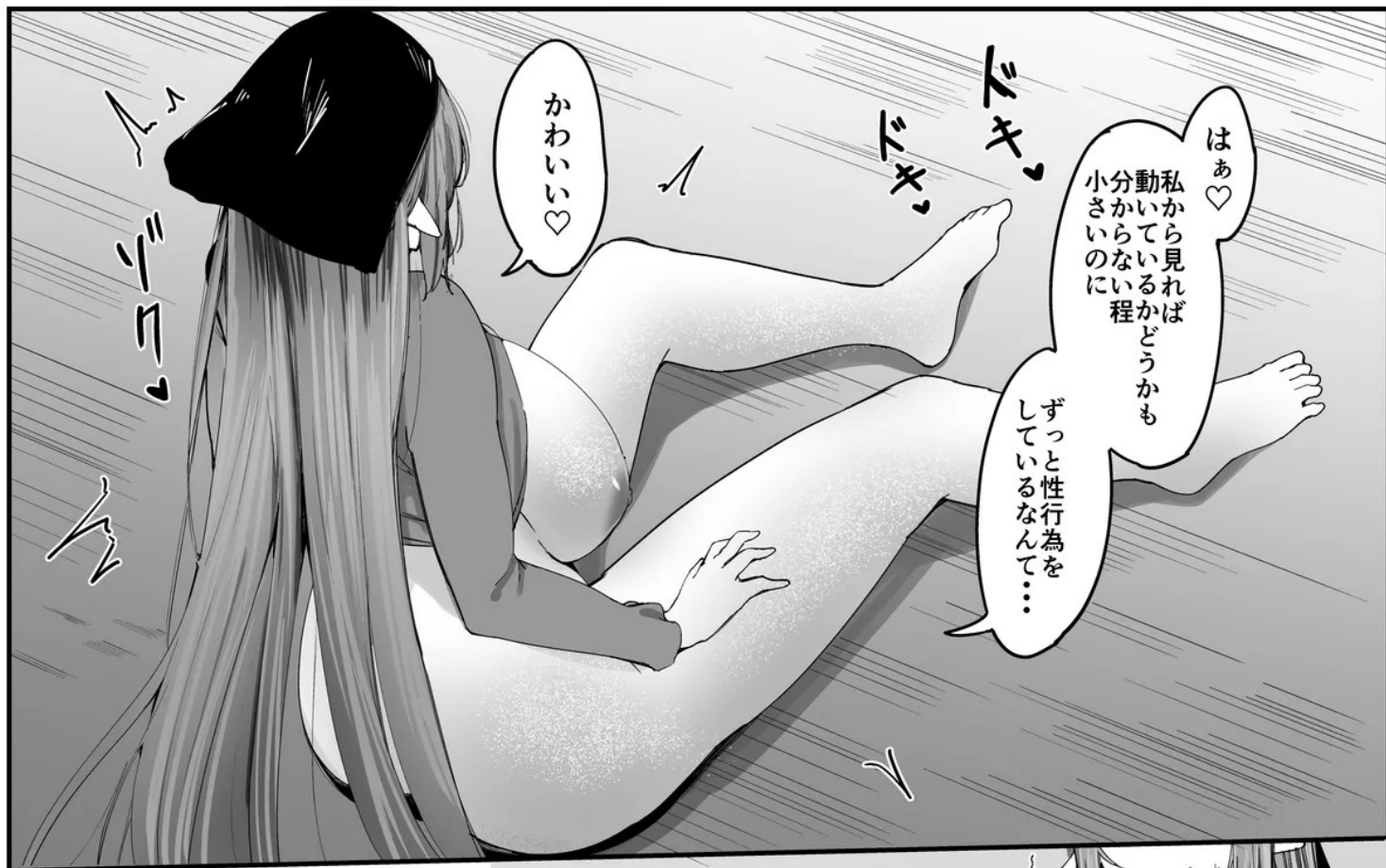


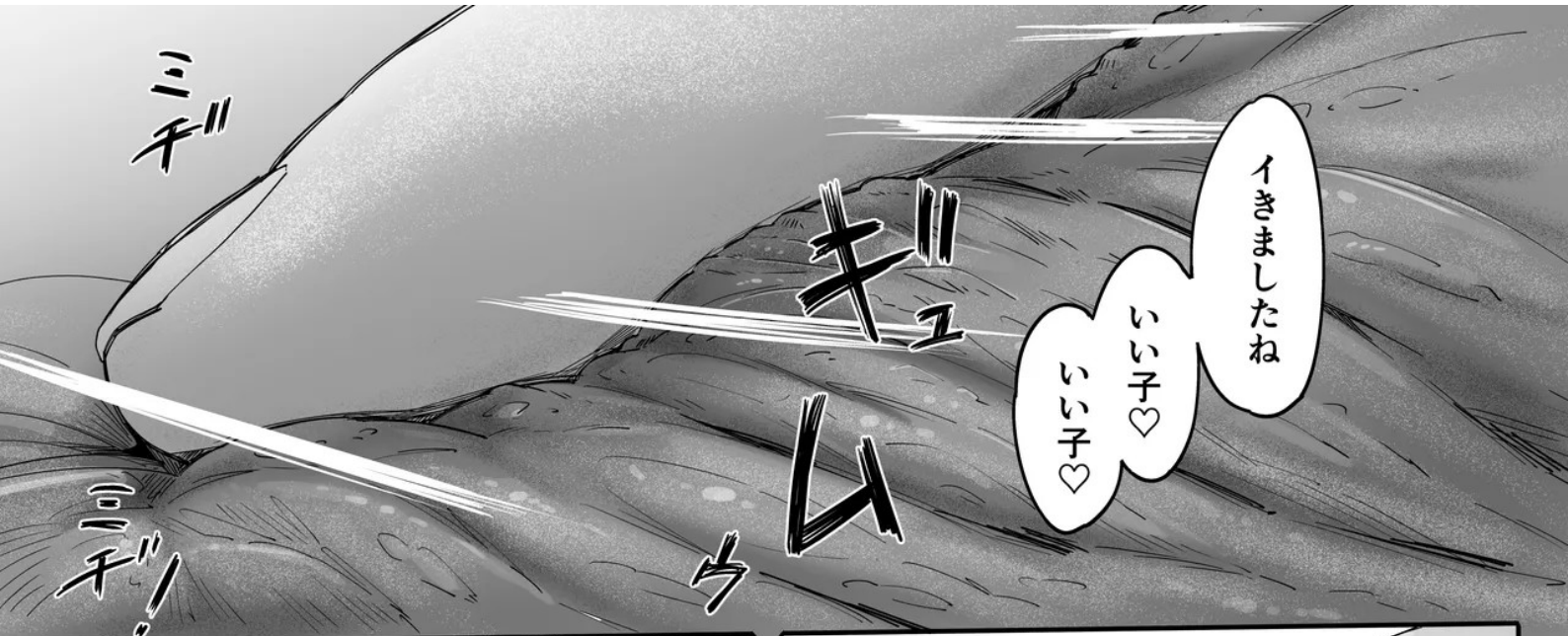
暑い

いっしょ









イきましたね

いい子♡

いい子♡



ここまで  
近付けたら  
やっと見える

もっと近くで  
見せてください



ピクピクしてる  
私の指紋の上で  
まだ性行為してるんだあ

ああ♡









見えない...

本当に  
この上に領主様が  
居るんですか?



そうですね...

ありがとうございます

ですが  
あと少しだけ



領主様を  
見届けて...

いえ  
なんでも  
ありません



はい

今もノエルさんの  
胸の上を這いつくばって  
性行為を続けています

これが本来の  
彼女の大きさなのですよ





領主様をもっと  
下等生物にすれば

さらに  
あつという間に  
寿命を迎えると  
言う事ですよねっ

私をもっと  
巨大な存在になって

領主様は  
私の胸の上で  
あつという間に  
寿命を迎える…  
そんなの  
本当に  
女神みたい

だから…

ドキ

ドキ

まさか

そ  
そうですが

！！！！

！！！！

はい

私にとっての数秒が  
領主様にとって  
数日、数ヶ月になるなんて

とても  
ドキドキします

小さく

なーれ♡

むせ返るほどの  
甘い香りと熱気

視界を永遠に  
埋め尽くす  
赤茶色の世界

……は……

……  
とても長い時間  
気が失っていた  
気がする

うう

だんだん  
思い出してきた

俺は女神様に  
ご奉仕する  
為にここに  
送られたんだ

縮小、1億分の1サイズ



1週間経過

はあっ

はあっ

射精欲が  
収まらない

もう何日も  
起きている間  
ずっと腰を動か  
し続けている

あっ

また  
いくつ…!

ドクン…



2週間経過

女神様は

どこに行かれたんだ…

逢いたい

逢いたいっ

うっ…

これは  
良いものです  
ね

私も初めの  
感覚です

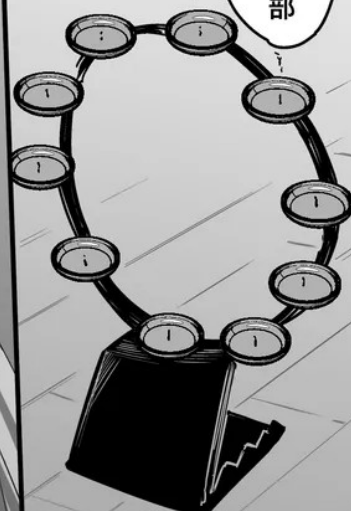
ああ…♡

本当に時間が  
目まぐるしく  
早くなっている  
んですね

すごい

小さくした  
瞬間に炎が全  
部消えました

実際の時間  
2秒間





ノエルさんはまだ  
気付いていない  
みたいですが

彼の時間の早さは  
あくまで  
「私達と比べたら」の話

小さくなった彼自身が  
感じている時間は  
何も変わらず

逆に私達がとても  
ゆっくり動いている  
と感じているのですよ

魔法で栄養摂取が  
不要になった今

彼は体感時間で  
何十年と寿命を迎えるまで

収まる事の無い  
射精欲に支配され  
腰を動かさ続け  
生きているうちに  
死んでしまった



とても  
面白い方です  
ノエルさんは

そんな苦痛を  
縮小した男性に  
させるとは...

数ヶ月後

ここだな  
人攫いの  
魔女が住む  
小屋ってのは

ここだな

ひゃあ!?

こっ  
殺さないで  
ください!

こっ

魔女討伐を  
依頼されて来た者だ!  
抵抗したら  
殺す!

締め♡

?  
いいえ……  
ですが

なっ!?  
じゃあお前が魔女か!?

いえ  
ここには  
私しか  
いません

この主人を  
出せ

使用人……か?

んちゅ

こんなに苦しそうに  
おちんちん硬くして  
かわいいそう

ちゅ

私が救って  
差し上げないと

心配しなくてもちゃんと  
先ほどの剣士さんの様に  
見えなくなるまで  
縮めて差し上げますよ

ねちゅ♡  
これは私が  
したい事なのです

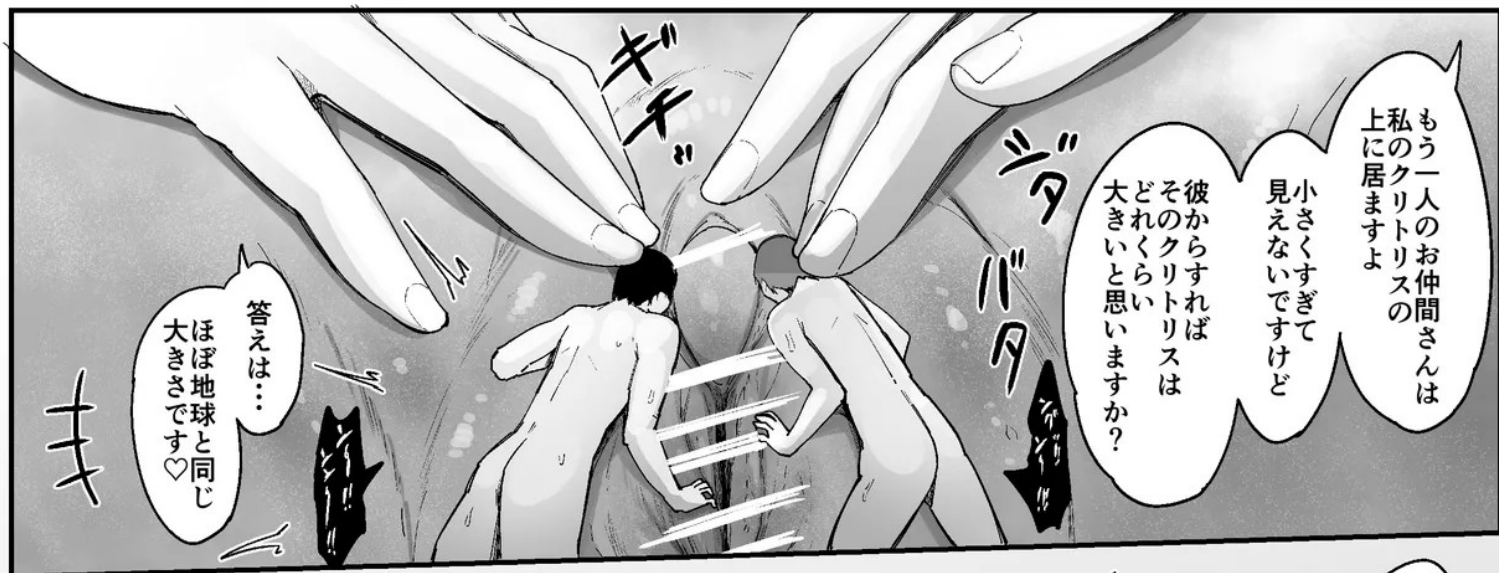
たすけろ!!  
たすけろ!!  
たすけろ!!

気持ちよく必死に  
お射精しながら  
小さくなっていくの  
を見ると

あの領主様の事を  
思い出して...

たまらない♡





言売んで頂き  
ありがとう  
ございました!

